

EC 税率、個人向け7%、企業向け32% 企業間取引の電子化が拡大 経産省調査

デジタル化による取引の電子化が、企業間取引の電子化を促進していることが、経産省の調査で明らかになった。調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

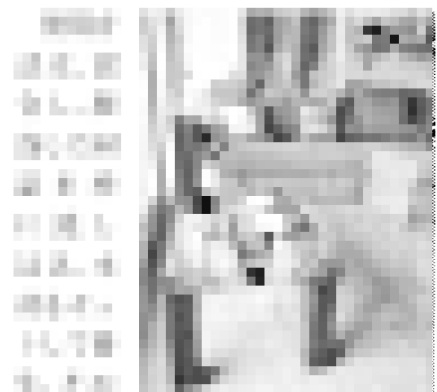
この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

高透明エポキシレジンを開発 本製品のデザイン広がる 大光塗料

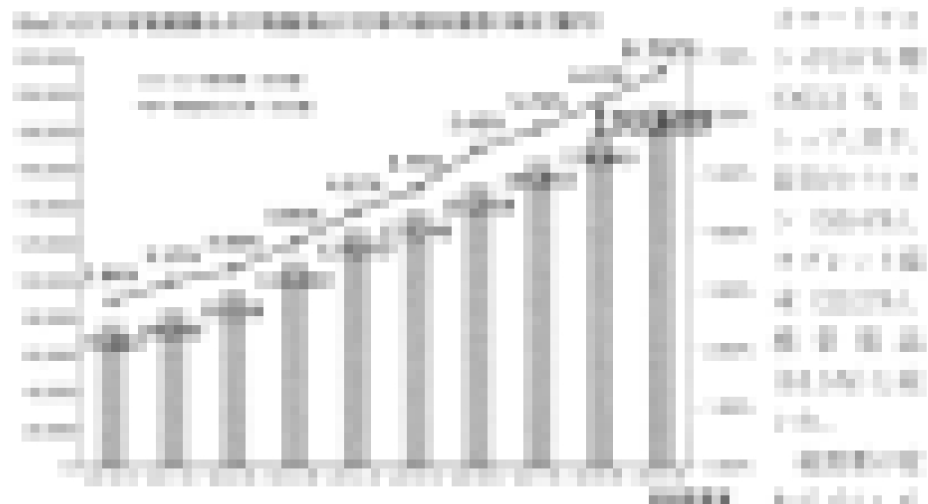
大光塗料は、エポキシ樹脂の透明性を向上させた高透明エポキシ樹脂を開発した。この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。

この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。また、強度も向上している。この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。

この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。また、強度も向上している。この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。



この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。また、強度も向上している。この樹脂は、従来のエポキシ樹脂よりも透明性が向上している。



この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

この調査によると、企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。企業間取引の電子化が進むにつれて、EC税率が個人向け7%、企業向け32%に引き上げられる。

環境配慮型プライマーを追加 江戸川合成

江戸川合成は高性能プライマー「エドボーセイシリーズ」に環境対応型万能プライマー「エドボーセイEPR」をラインアップに追加。販売を開始した。

「エドボーセイEPR」は、アルミニウム・ステンレスなど多くの非鉄金属素材に対する高い密着力をはじめ、防錆力・上塗り適合性・作業性といった同シリーズの特長を踏襲。その上で環境配慮にこだわって開発された。トルエン・キシレン・MIBK・スチレンの合計含有率は0.1%未満と、環境負荷を軽減したプライマー。PRTR法対象物質

を99%以上削減（同社従来品比）、特化則、RoHS指令など、さまざまな環境規制に対応した。常温乾燥から強制乾燥（60～180℃）まで幅広い条件で使用が可能となっている。

同社では「環境に配慮した塗料を製品群にラインアップしていくことで、安心・安全な環境づくりの推進、塗装従事者の作業性改善にも努めていく」としている。

色相は301 グレー、802 ブラック、901 ホワイト。容量は16kg。専用シンナーはThinner2110 S(夏型)、同SW(春秋型)、同W(冬型)。

環境配慮型塗料

この塗料は、従来の塗料よりも環境負荷を軽減している。また、作業性も向上している。この塗料は、従来の塗料よりも環境負荷を軽減している。

この塗料は、従来の塗料よりも環境負荷を軽減している。また、作業性も向上している。この塗料は、従来の塗料よりも環境負荷を軽減している。